

令和3年9月29日  
(2021年)

吹田市長 後藤 圭二 様

地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会  
委員長

高杉 豊



地方独立行政法人市立吹田市民病院 令和2年度の業務実績評価に係る意見について (答申)

令和3年8月19日付け3健健第636号にて市長より諮問のありました表記のことについて、下記のとおり答申いたします。

記

地方独立行政法人市立吹田市民病院令和2年度の業務実績に関する評価結果(案)については、妥当であると判断する。

なお、今後の病院運営に当たっては、以下の意見を踏まえつつ、市立病院としての役割を確実に実施し、地域に必要な医療を継続的に提供されたい。

1 がん診療について

新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、がん治療件数が中期計画目標を超えた水準を維持できている点については高く評価できる。

今後のがん診療地域連携パスの積極的な運用など、地域医療機関の機能分担に努めてもらいたい。

2 リハビリテーション医療について

365日リハビリテーションを行う体制を整えて、新たな施設基準を取得した点については評価できる。

引き続き、患者の状態に応じて適切なリハビリテーションを提供し、患者の自立を促していただきたい。

### 3 地域の医療機関（かかりつけ医）との機能分担・連携について

新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、可能な範囲で開業医への訪問を行い、登録医の数を増加させた点、また、昨年度に引き続いて紹介率が70%と成果を維持できている点については高く評価できる。

今後も、地域医療機関との連携を密にし、逆紹介患者の受け入れやかかりつけ医の啓発などに努めてもらいたい。

### 4 財務基盤の確立について

経常収支比率が中期計画目標を上回り、経営改善の取り組みの成果が表れてきたことは評価できる。引き続き、安定した経営基盤に不可欠な要素であることを常に意識し、再び目標を下回らないように収益の確保を図っていただきたい。